

松阪市立小中学校空調設備整備 DBO 事業

審査講評

平成 30 年 11 月 2 日

松阪市立小中学校空調設備整備 DBO 事業審査委員会

— 目 次 —

1. 松阪市立小中学校空調設備整備 DBO 事業審査委員会の設置	1
2. 委員会の開催経過	1
3. 審査結果.....	2
3.1. 第一次審査.....	2
3.2. 第二次審査.....	2
3.2.1. 入札価格の確認.....	2
3.2.2. 基礎審査.....	2
3.2.3. 加点審査.....	2
3.3. 価格点の算出	3
3.4. 総合評価	3
4. 審査講評.....	3
4.1. 本事業の実施に関する提案	3
4.2. 空調設備の整備に関する提案	4
4.3. 空調設備の維持管理に関する提案	4
4.4. ライフサイクルコスト等に関する提案.....	4
5. 総評.....	5

1. 松阪市立小中学校空調設備整備 DBO 事業審査委員会の設置

松阪市（以下「市」という。）は、松阪市立小中学校空調設備整備DBO事業（以下「本事業」という。）を実施するにあたり、専門的見地から意見を聴取し、本事業を実施する民間事業者（以下「事業者」という。）を公正かつ適正に選定するため、学識経験者等により構成される松阪市立小中学校空調設備整備DBO事業審査委員会（以下「委員会」という。）を設置した。

委員会の構成は、次に示すとおりである。

	氏名	所属・役職等
委員長	伊庭 良知	(一社) 国土政策研究会 理事
副委員長	齋藤 輝幸	名古屋大学大学院環境学研究科 准教授
委員	松田 まゆみ	松阪市立米ノ庄小学校 校長
〃	長野 功	松阪市建設部 部長
〃	松名瀬 弘己	松阪市教育委員会事務局 局長

2. 委員会の開催経過

委員会は計5回開催し、市からの諮問事項についての審議等を行った。委員会の審議等の経過は次に示すとおりである。

委員会	開催日	主な議題
第1回	平成30年3月19日	<ul style="list-style-type: none">・事業概要の説明・委員会の議事内容及び今後のスケジュールについて・実施方針(案)について・落札者選定基準について
第2回	平成30年5月2日	<ul style="list-style-type: none">・第1回の議事録の確認・入札説明書(案)について・要求水準書(案)について・様式集(案)について・契約書(案)について・落札者決定基準(案)について
第3回	平成30年5月16日	<ul style="list-style-type: none">・第2回の議事録の確認・入札説明書(案)について・落札者決定基準(案)について
第4回	平成30年10月6日	<ul style="list-style-type: none">・第3回の議事録の確認・入札参加資格審査結果について・予定価格の確認結果について・提案書類等の基礎審査結果について・提案審査の手順及び採点方法について・ヒアリング当日のタイムスケジュールについて・ヒアリング時の質問事項について
第5回	平成30年10月21日	<ul style="list-style-type: none">・応募者ヒアリングの実施・総合評価点の算出及び審査講評について

3. 審査結果

3.1. 第一次審査

下記の応募グループから入札参加資格確認申請に関する提出書類の提出があった。

入札参加資格の確認を行った結果、当該応募グループの入札参加資格が認められた。

なお、第一次審査の応募者は1グループであったが落札者決定基準に基づき、当該応募グループの審査を行った。

応募グループ構成	
代表企業	株式会社日乃出エヤコン
構成企業	富士電設備株式会社
構成企業	株式会社東海テック
構成企業	明光電気株式会社
構成企業	長谷電工株式会社
構成企業	株式会社桂設計

3.2. 第二次審査

3.2.1. 入札価格の確認

市は、平成30年9月21日に応募者の立会いのもと、入札価格が予定価格を上回っていないことを確認した。

3.2.2. 基礎審査

当該応募グループから提出のあった入札書類及び事業提案書等の内容について、不備や未記入の書類がなかったこと、要求水準を満たしていることを確認した。

3.2.3. 加点審査

委員会において、落札者決定基準に基づき、当該応募グループが提出した提案書類について技術評価点を付与した。

加点項目審査の結果は、以下のとおりである。

	No.	評価項目	配点	点数
本事業の実施に関する項目	1	事業実施における体制	3点	1.92点
	2	リスクへの対応の妥当性	3点	1.92点
	3	事業実施における地域貢献	19点	13.17点
空調設備の整備に関する項目	4	設計及び施工業務の実施体制及びスケジュールの妥当性	10点	6.12点
	5	空調設備の特徴	6点	3.60点
	6	学校現場に配慮した設置	10点	5.80点
	7	フレキシビリティへの配慮	5点	3.30点
	8	整備に向けた安全確保の妥当性	15点	8.00点
	9	環境への配慮	4点	2.64点

	No.	評価項目	配点	点数
空調設備の維持管理に関する項目	10	維持管理業務の実施方針・実施体制・スケジュールの妥当性	4点	2.36点
	11	モニタリングの有効性	6点	3.48点
	12	事業期間終了時の空調設備の性能確保のための配慮	5点	2.78点
ライフサイクルコスト等に関する項目	13	ライフサイクルコスト等への配慮	10点	8.00点
技術評価点 合計			100点	63.09点

3.3. 価格点の算出

当該応募グループの入札価格について、予め落札者決定基準に公表された算式により価格点として算出した。入札価格は提示した予定価格(2,049,620,000円(消費税及び地方消費税を含む。))以内で、かつ、1グループの提案であることから、価格点として100点を付与した。

応募グループの入札価格	2,049,474,654 円
-------------	-----------------

※消費税及び地方消費税を含む。

3.4. 総合評価

委員会は、次表のとおり総合評価点を算定し、当該応募グループを優秀提案者として選定した。
(総合評価点の算定結果)

	日乃出エヤコングループ
技術評価点	63.09点
価格点	100.00点
総合評価点	163.09点

4. 審査講評

4.1. 本事業の実施に関する提案

- ・ 公共設備工事の実績がある市内企業と、官民連携事業の豊富な経験実績を有する市外の企業が協働する体制が高く評価できる。
- ・ 各工程において、臨機応変に市等との協議を実施するとの点が評価できる。
- ・ 緊急時において、地元企業であることを活かした体制であった点が評価できる。
- ・ 設計業務、工事監理業務において、遅滞なく業務が継続できるようバックアップサービス確認書を締結している点が評価できる。

-
- ・ 構成企業に市内企業を多く活用していることや50社の市内企業より関心表明書を取得していること、市内企業への契約予定額割合が65.5%以上とすることを明記していることなど、地域経済への貢献が高く評価できる。

4.2. 空調設備の整備に関する提案

- ・ 予定しているⅠ期工事を踏まえて、Ⅱ期工事以降の全施工会社に施工方法及び仕様を周知させることにより、施工の効率化を図るよう提案されている点が評価できる。
- ・ 対象校の特徴・立地特性や敷地条件、学校現場の意向を把握するアンケート、市・学校現場との打合せに使用するチェックリストを作成するなど対象校の特徴や協議・確認内容を把握するための具体的な提案が評価できる。
- ・ 工事エリアに児童・生徒が立ち入らないように誘導員の配置を行うことで安全に誘導する工夫がなされていた点や学校行事等においても臨機応変に対応していただくという点が評価できる。

4.3. 空調設備の維持管理に関する提案

- ・ 市内企業が主体となった体制が高く評価できる。
- ・ 遠隔監視付フルメンテナンスサービスを活用することにより24時間365日の遠隔運転監視及び的確な状況把握が可能なことと、重大事象・事故等に関しては協議会で経過状況を随時報告するなど故障時とその後の対応について提案されている点が評価できる。
- ・ フィルター清掃において、持ち帰って洗浄することにより、学校内での作業等を極力少なくする点とともに、全台数分の予備フィルターを準備されることが評価できる。
- ・ 維持管理期間終了の1年前より「引継ぎ協議会」を設置することや実績がある企業が他自治体の事業終了後の取組み等を市へ提案するなど具体的な内容であったことが評価できる。

4.4. ライフサイクルコスト等に関する提案

- ・ 集中コントローラーや遠隔監視データの活用、フルメンテナンスサービスを活用し、光熱水費を抑えるための工夫や市へのアドバイスを実施するが評価できる。

5. 総評

本事業に参加した応募者は1グループであったものの、選定された事業者の提案は、事前に定められた予定価格の範囲の中で要求水準書を踏まえた事業者ならではの創意工夫が随所に見られ、優れた内容であった。提案に関する準備及び作業も膨大であったと推測されるが、本事業に対する応募者の熱意と誠実な姿勢に対し、高く評価するとともに深く感謝申し上げたい。

なお、委員より、以下の付帯意見が挙げられた。これらの事項について、市及び学校と十分な協議を行い、今後の対応に努めていただくことを期待する。

- ・ 事業期間中、工事現場が多くなることや協議回数が増えることが想定され、市及び事業者の協議・調整が多くなることが考えられる。そのため、議事録対応や業務管理等、体制を整えて業務を進めていただきたい。
- ・ 業務実施時においては、市と十分な協議を行い、業務を進めていただきたい。
- ・ 工事スケジュールについて、可能な限り、事業者の意向に沿うよう調整していきたいが、学校教育活動上、予期せぬ事態や調整ができない行事等が多数あるため、教育現場であることを意識し、学校教育活動に支障をきたさないよう学校現場とのスケジュール調整や要望を尊重していただきたい。
- ・ 室内空気環境については具体的な提案はなかったが、適切な室内環境の維持に努められるよう検討いただきたい。
- ・ 複数の学校を同時に工事することとなるため、多数の施工企業で工事を実施することとなるが、学校間で品質等の違いがないよう品質管理を徹底していただきたい。

最後に、本事業が順調に実施され、学校教育環境がさらに快適なものとなり、市の学校教育の充実に寄与することを願う。

松阪市立小中学校空調設備整備 DBO 事業審査委員会

委員長 伊庭 良知